

令和7年度事業報告

I. 修学支援事業の状況

(1) 奨学生を採用

採用計画64名に対して62名を採用しました。

(単位:人)

大学	期首				採用数(予約含む)				期中在籍(7.1)			
	学部	修士	博士	合計	学部	修士	博士	合計	学部	修士	博士	合計
東京大学	4	5	2	11	4	3		7	8	10	2	20
一橋大学	2			2	2			2	5	1		6
東京科学大学		3		3	1	2		3	2	5	1	8
名古屋大学	1	3		4	1	2		3	1	4		5
京都大学	7	6		13	4	3	1	8	11	8	1	20
京都府立大学		1		1				0	1	1		2
奈良女子大学	1	2		3				0	1			1
大阪大学	11	4	3	18	4	6	1	11	12	12	2	26
大阪公立大学	5	3		8		4	1	5	4	6	1	11
神戸大学	7	1		8	3	6		9	7	8		15
兵庫県立大学	6	2		8	2	3		5	6	4	1	11
九州大学	9	5		14	1	8		9	7	12		19
合計	53	35	5	93	22	37	3	62	65	71	8	144

＊予約大学院12名(修士9名、博士3名)、一般50名(学部22名、修士28名)

(2) 予約大学院生の選考(令和8年4月採用)

大学院進学後も引き続き当会の奨学金を希望した18名(修士13名、博士5名)について、選考委員による選考を行い、18名の採用を内定しました。内定後修士1名辞退の申し出がありました。

(3) 奨学金の交付状況

本年度は在籍144名のうち休学等の5名を除く139名の奨学生に対して総額70,014千円の奨学金を交付しました。

交付総額

(単位:円/年)

区 分	計画			実績		
	給 与	貸 与	合計	給 与	貸 与	合計
学 部	22,050,000	8,820,000	30,870,000	20,010,000	8,004,000	28,014,000
修士・博士	29,925,000	12,825,000	42,750,000	29,400,000	12,600,000	42,000,000
合 計	51,975,000	21,645,000	73,620,000	49,410,000	20,604,000	70,014,000

(4)奨学金の貸与及び返還状況

令和7年度末の貸与残高は178,336千円です。

(単位:千円)

年度	貸与額	返還額	免除額	貸与残高	増 減
令和3年度	28,281	51,618	0	275,568	△ 23,337
令和4年度	27,393	50,174	0	252,787	△ 22,781
令和5年度	20,835	51,659	1,324	220,639	△ 32,148
令和6年度	21,348	44,229	0	197,758	△ 22,881
令和7年度	20,604	38,753	1,273	178,336	△ 19,422

(5)会誌「星友」の発行

奨学生と卒業奨学生からの投稿作品等を編集委員会において編集し、星友67号を4月に600部発行しました。会誌は奨学生、卒業奨学生、大学、関係官庁、その他関係者等に配布するとともにデジタルブック化しホームページに掲載しました。
また、既刊「星友」41号～43号をデジタルブック化しホームページに掲載しました。

(6)新入生歓迎会

ガイダンスを兼ねた新奨学生歓迎会を大阪、東京、福岡にて開催しました。

地 区	開催日	新奨学生	卒業生・現役生	役員	事務局	合計
大 阪	7月12日	30	0	2	3	35
東 京	7月19日	9	6	2	3	20
福 岡	7月26日	6	13	5	4	28
合 計		45	19	9	10	83

(7)講演交流会

当会卒業生を講師として招き、大阪、東京、福岡にて講演会および交流会を開催しました。

(講演)

- ・大 阪 赤塚麻衣氏(阪大(外国語学部4年)在籍)＊現役奨学生
演題 「国際協力しながら1人で世界一周した話」
- ・東 京 坂口干城氏(1979年九大(工学)卒、㈱ISC東京 社長)
演題 「建設業とISO審査登録機関」
- ・福 岡 吉田健司氏(1976年神戸大(経済)卒 三原福祉サービス㈱代表取締役)
演題 「人生100年時代、介護保険と地域包括ケアの現状と今後」

地 区	開催日	現役生	卒業生	役員・事務局	来賓	合計
大 阪	10月3日	74	37	11	4	126
東 京	10月9日	29	87	8	2	126
福 岡	10月23日	15	15	11	1	42
合 計		118	139	30	7	294

(8)卒業祝賀会

卒業を迎える奨学生を対象として、3月に大阪、東京にて卒業祝賀会を開催しました。

開催地	開催日	卒業生	役員	事務局	合計	備考
大 阪	3月6日	18	4	4	26	
東 京	3月12日	10	4	3	17	
合 計		28	8	7	43	

II. 学術教育の支援・助成事業

図書の寄贈

当会設立者ゆかりの福岡県下の小学校、高等学校へ図書の寄贈を行ないました。

泉小学校	300	千円
古月小学校	200	千円
育徳館高等学校	298	千円
合 計	798	千円

III. 寄附金の収受状況

(単位:円)

(1)個人寄附金

・卒業生	94 名
・一 般	6 名

計 11,940,000

(2)法人寄附金(14法人)

中山建物株式会社	30,000
ニッタイ株式会社	500,000
大中物産株式会社	1,000,000
医療法人社団秀明会 遠谷眼科	100,000
尼崎製罐株式会社	1,000,000
中山化成株式会社	200,000
関西鉄工株式会社	200,000
株式会社関西トラスト	4,000,000
星光商事株式会社	300,000
不動恒産株式会社	1,500,000
株式会社シード	300,000
関西観光開発株式会社	1,000,000
株式会社中山製鋼所	7,000,000
株式会社サワライズ	4,000,000

計 21,130,000

合計 33,070,000

IV. 財務の状況

令和7年度は日本の金利上昇と米国のインフレ抑制により金利が低下へと向かいましたが、米国の関税政策等で世界経済は混迷しました。また、ウクライナ戦争が継続するなか、中東情勢の混迷や原油価格の高騰を背景に、株式や債券の市況も大きく乱高下しました。このような状況で年度末には保有資産の時価評価が急落しましたが、現預金で金融資産を買増しし、前年度比+27百万円の3,413百万円となりました。

また、運用益につきましては、円安の影響によりドル建て債券の為替益および期中の株価上昇により投資信託分配金増、さらに株式配当の増額等で計画比+5百万円の112.5百万円を得ることができ、利回りは3.3%となり目標の2.5%を大きく上回ることができました。

V. 管理事項の概要

1. 役員等に関する事項

(1) 理事、監事、評議員

役 職	氏 名	現職等
理 事 長（常 勤） 専務理事（非常勤） 理 事（非常勤）	中 山 景 子 宮 地 茂 雄 松 永 和 夫	(株)関西トラスト相談役 (一財)高度技術社会推進協会会長 元三菱ふそうトラック・バス(株)会長 元経済産業事務次官
理 事（非常勤） 理 事（非常勤） 理 事（非常勤）	箱 守 一 昭 花 木 啓 祐 木 村 彰 方	(株)中山製鋼所会長 東京大学名誉教授、東洋大学名誉教授 東京医科歯科大学名誉教授 元東京医科歯科大学副学長
理 事（非常勤）	難 波 功 士	関西学院大学社会学部教授
監 事（非常勤） 監 事（非常勤）	番 匠 敏 直 花 山 和 之	元(株)サワライズ社長 はなやま税理士事務所代表(税理士)
評 議 員（非常勤） 評 議 員（非常勤） 評 議 員（非常勤） 評 議 員（非常勤） 評 議 員（非常勤） 評 議 員（非常勤） 評 議 員（非常勤）	河 窪 博 史 出 口 み どり 千 川 勝 宣 柴 田 耕 治 齋 藤 日 出 樹 中 山 智 香 子 進 藤 正 孝 米 村 銀 次 郎	大中物産(株) 相談役 エバーグリーン法律事務所代表(弁護士、税理士) 関西観光開発(株)社長 (株)サワライズ社長 三星商事(株)社長 元福岡市西区長 (株)関西トラスト社長

(2) 奨学生選考委員

役 職	氏 名	現職等
委 員 長 委 員 委 員 委 員 委 員 委 員 委 員 委 員 委 員	宮 地 茂 雄 難 波 功 士 花 木 啓 祐 納 富 恵 子 井 口 正 秀 笹 田 一 郎 秦 康 範 山 根 周 大 朝 由 美 子	(株)関西トラスト相談役 関西学院大学社会学部教授 東京大学名誉教授、東洋大学名誉教授 福岡教育大学名誉教授 元兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校教諭 九州大学名誉教授 日本大学危機管理学部教授 関西学院大学建築学部教授 埼玉大学教育学部准教授

(3) 事務局

区 分	人 員	備 考
体 制	3名	事務局長1名及び職員2名 (西日本地区については、関係会社の協力により対応)

2. 理事会・評議員会・選考委員会の開催

(1) 理事会

開催年月日	主な決議事項		審議結果
令和7年5月16日 (決議の省略)	第1号議案	令和6年度事業報告及び計算書類等承認の件	承認可決
	第2号議案	定時評議員会招集に関する件	承認可決
令和7年6月6日	第1号議案	令和6年度事業報告等に係る定期提出書類承認の件	承認可決
	第2号議案	理事長及び専務理事選定の件	承認
	報告事項	職務執行の状況について	
令和7年6月27日 (決議の省略)	第1号議案	令和7年度奨学生の採用承認の件	承認可決
	第2号議案	役員及び評議員に対する退職慰労金支給の件	
令和7年12月15日 (決議の省略)	議案	令和8年度予約大学院奨学生の採用承認の件	承認可決
令和8年3月6日	第1号議案	令和8年度事業計画及び収支予算、 資金調達及び設備投資の見込みに関する件	承認可決
	第2号議案	当該事業年度開始日において行う公益事業の種類 及び内容に関する件	承認可決
	第3号議案	選考委員辞任の件	承認可決
	第4号議案	特定費用準備資金等取扱規則の公益充実資金等 取扱規則への改定の件	承認可決
	報告事項	職務執行の状況について	承認

(2) 評議員会

開催年月日	主な決議事項		審議結果
令和7年6月6日	第1号議案	令和6年度事業報告及び計算書類承認の件	承認可決
	第2号議案	評議員選任の件	承認可決
	第3号議案	理事及び監事選任の件	承認可決
	報告事項1	令和7年3月7日理事会の決議内容について	承認
	報告事項2	職務執行の状況について	承認

(3) 奨学生選考委員会

開催年月日	主な決議事項		審議結果
令和7年5月16日	議案	令和7年度一般奨学生選考について(評価基準、面接等)	承認
令和7年6月20日 (決議の省略)	議案	令和7年度奨学生の採用承認の件	承認可決
令和7年12月8日 (決議の省略)	議案	令和8年度予約大学院奨学生の採用承認の件	承認可決

3. 行政官庁への申請・届出・提出に関する事項

申請年月日	届出先	届出事項等
令和7年6月20日	内閣府(公益認定等委員会)	事業報告等の提出
令和7年6月23日	内閣府(公益認定等委員会)	変更届(役員改選に伴う就任、退任)
令和7年7月9日	文部科学省高等教育局	「特定の学資としての貸付けに係る消費貸借契約書の印紙税の非課税措置」実績報告の提出
令和8年1月13日	大阪市財政局	寄附金税額控除に係る寄附金額等報告書の提出
令和8年3月11日	内閣府(公益認定等委員会)	変更届(公益目的事業の種類又は内容の変更)
令和8年3月26日	内閣府(公益認定等委員会)	事業計画書等の提出

VI. 自律的ガバナンスに関する取組等

1. 内部統制・コンプライアンスに関する取組

定時理事会での決議に基づき、令和7年4月1日付で下記のガバナンスの関する規程を施行し、事務局員にその内容を周知し、令和7年6月の評議員会でも新任理事、評議員を含め全役員及び評議員に周知を行った。。

- ①倫理規程
- ②リスク管理規程
- ③コンプライアンス規程
- ④公益通報者保護に関する規程

2. 事業の効果測定及び実効性担保のための取組

経済的に困難な学生に対して学資の貸与・給付を行い、将来の国家に役立つ人材を育成することを目的とした修学支援を行っている。

当法人は、修学支援事業に関し、その効果の把握するため以下の取組を行っている。

- ①現役奨学生(大学生・大学院生144名)に対し、奨学金を支給する際に、近況報告(授業、進路、課外活動、アルバイトや仕送りなど)を提出してもらい現況を確認している。
また、年度初めには成績表の提出を求めて、学業、生活状況を把握して、奨学生の選考が適切であったかを検証している。
- ②当法人が支援を終了した卒業生に対しては、毎年「現況連絡」を送付し、就労状況を確認するとともにデータ管理し、継続的に状況を把握している。
(令和7年8月1,225名に送付、425名から返信)

VII. 事業報告の附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」については下記のとおりです。

貸与奨学金の免除の件

令和7年度に2名の貸与奨学金返還免除申請があり、1,273千円を費用(奨学金管理)として計上しました。

免除理由

- 1. 精神疾患により長年就業不能状況が続いており、また連帯保証人も安定した収入が無く返済が困難 免除額 1,148千円
- 2. 自己破産によるもの 免除額 125千円